

# 小峯の観音堂

—小峯—



◀小峯観音堂内に祀られてある馬頭観世音菩薩  
▼観音堂の外観



益城町の中心地から北西端の小峯地区に「小峯観音堂」があります。観音堂内には「馬頭観世音菩薩」が祀られています。

姿は、頭上に馬頭をいただく三面八臂で、怒りの形相をしている変化観音です。

その「力」は、馬が草をむさぼり食べ尽くすように、諸悪や煩惱を食べ尽くして人々や馬の安全を加護されているといわれています。

この観音堂は、明治初期に小峯地区に移住された中村家・松村家・水森家などが中心となって建立されたと伝えられています。昭和23年に改修されましたが、その後さらに傷みが進んだため、平成8年に氏子の人々や地区の人々の協力を得て本格的な改築が行われています。

この馬頭観音は小峯地区のシンボリックな存在であり、地域の「氏神」として崇拜されています。

毎月18日には地域の人々により観音堂の清掃奉仕が行われています。

1月・3月・5月・9月の18日には、「お神酒あげ」が行われており、10月15日には氏子全員が参加する「宮座」が開かれています。座元は5人が一組となり年々、交代で務められています。

益城町内には杉堂や上陳にも馬頭観音が祀られています。

参考文献「益城町史 資料／民俗編」

「密教曼荼羅」久保田悠羅著

益城町文化財保護委員会

## 俳句

早川宏次 選

安眠を妨げる夜ぞ猫の恋  
由布岳や銀の雨降る金鱗湖  
一人居の吾れかげろふの如くあり  
春の時期行ったり来たり戻り寒  
筍の珍珠ひき出す山椒味噌  
夕散歩みかんの花やむせる程  
ざくろの実熟れてしだれているも良し  
トンビ舞う古里の空清々しく  
山は緑山菜とりに汗流す

広崎 松原まゆみ  
下陳 城 陶子  
惣領 小森英美子  
惣領 新居 露子  
木山 増岡 伸禧  
木山 山口サツキ  
熊本 高田美佐子  
惣領 阪口 基明  
惣領 阪口由美子

## 狂句

田上富岳 選

迷惑なこつ 手配写真に似とるげな  
迷惑なこつ 孫は預けて迎え来ん  
迷惑なこつ 嬢のイビキに貯まる金  
迷惑なこつ からいこなさん高齢化  
迷惑なこつ 煙草プカプカ人前  
そぎゃん言つな 身から出たサビ梅やんどる  
そぎゃん言つな ちゃんと嫁ごは見つけよる  
そぎゃん言つな 食べば太るは当たり前  
そぎゃん言つな まだ一升は飲うどらん  
そぎゃん言つな 笑って返す片えくぼ

宮園 永瀬 美波  
寺迫 左 喜樹  
島田 堀川 骨鶏  
木山 増岡 酔酔  
惣領 阪口 基明  
宮園 井藤 吉郎  
宮園 村上トヨメ  
広崎 松原まゆみ  
惣領 小森英美子  
熊本 高田美佐子

### 狂句次号の課題 「ふだんから」当たり前

投稿は役場広報係まで。

投稿締切日は毎月15日です(当日必着)。

※数種に投稿される場合は、別にお送りください。